



DIAMOND FRSYSTEM

ダイヤモンド システム

【マイクロセメント】

施工要領書

商品紹介	2-4ページ
施工手順	5-7ページ
パテ処理	8ページ
使用上の注意	8ページ



株式会社オンザウォール
静岡市駿河区池田364-1
TEL 054-368-4386
FAX 054-368-4387
onthewall000@gmail.com
202010

接着材

ドックプライマー

水で倍に薄めてご使用ください

※刷毛やローラー塗布

※希釈率100% (1:1)

※1~2度塗り

※乾燥時間 2~3時間

※使用量目安 8~18㎡/ℓ 希釈後



プロリンク (ドックプライマーの強力版)

※ローラー塗布

※希釈率 0~10%希釈 (1:1~1.1)

※2度塗り

※乾燥時間 1~2時間

※使用量目安 7.5~10㎡/ℓ



ベース材

ダイヤモンドフロア レベル (2液性)

A材とB材を2:1 で混合し十分攪拌して下さい

◎必要に応じて加水してください

※コテ塗り

※1~2度塗り

※乾燥時間 2~3時間

※使用量目安 (A B 混合後の量)

1kg/㎡ (A660g+B330g; メッシュ無し)

2kg/㎡ (A1,330g+B660g; メッシュ伏込時)



A材ペースト
13.2kg

B材粉体
6.8kg

<施工ポイント>

平滑に仕上げてください。コテ跡など凸部は乾燥後サンディングで平らにしてください。床などメッシュ伏せこみ時、乾燥後のメッシュ跡が透けている場合は同材でメッシュ跡が消えるよう薄く再塗布してください。

仕上げ材 ～骨材サイズの違う 2種類をご用意～

ダイヤモンドフロア／ダイヤモンドフロアファイン

2度塗りです 加水せずそのままご使用ください

※コテ塗り

※2度塗り

※1度塗り目乾燥時間 2～3時間

2度塗り目乾燥時間 6時間

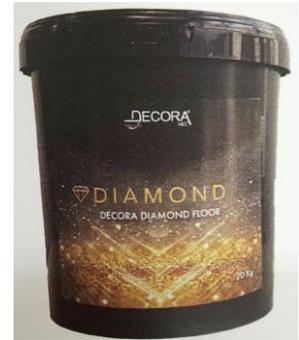
※使用量目安

1kg/m² (500g/m²×2度)

1.2kg/m² ファイン (600g/m²×2度)

※骨材サイズ

フロアファイン<フロア



20kg

<施工ポイント>

1度目のコテ跡が仕上がりの柄に影響を与えます。うっすら柄を出しながら手触りはツルッと仕上げるコツは、1度目はコテ跡などの柄を薄くつけて施工し、2度目の塗り付けでコテ跡の凹凸を無くす程度に平滑に薄く塗り付けてください。2度目の塗り付け後、手につかない程度に乾いたら綺麗なコテで押える（磨き作業を行う）と表面の目が詰んでツルツルとしてきます。2度塗り終了後は6時間以上乾燥時間を設けてください。

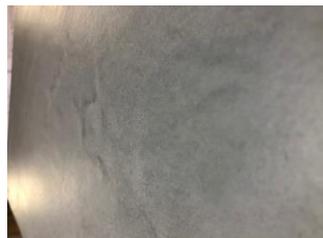
★押え磨きの際は厚さ0.5～0.6mm程度の硬めのコテをご使用下さい。
コテ裏は常に綺麗な状態で磨いてください。

★押え磨き過ぎはコテの摩擦熱でくすみ（コテ焼け）が発生する場合があります。くすみが気になる場合は、乾燥後に120番～240番のサンドペーパーで研磨すると薄くなります。黒など濃色系はサンドペーパーで研磨すると白っぽく色が薄くなりますが、トップコートを塗布する事で色は概ね戻ります。無研磨仕上げ箇所との色差が生じる場合がございますのでご注意ください。

★1度目のコテ跡の凹凸が大きい場合は2度目を塗る前に凸部を80番～120番のサンドペーパーで削って下さい。



1度目塗り付け



2度目塗り付け+押え磨き

コート材

ダイヤモンドシーラー（2液性）

A材とB材を4：1で混合し十分攪拌して下さい。

※コテ 又は ローラー

※1～2度塗り

※1度塗り目乾燥時間 2～3時間

2度塗り目乾燥時間 6時間

※使用量目安（A B混合後の量）

90～100 g / m² / 1度塗り

（A72g+B18g）



A材液体4kg



B材液体1kg

< 施工ポイント >

- ★塗布前に表面のゴミやホコリなどふき取ってください。また、施工の際や養生時はホコリ等が付かないような施工環境に配慮してください。
- ★配合比に注意して十分攪拌してください。
- ★コテでの作業をお勧めします。ローラー使用の際は塗布ムラによる塗膜の凹凸や、細かな凹み箇所が未塗布とならないようにご注意ください。
- ★入り隅などはシーラーが溜まりやすく、白濁したまま硬化するなどの原因となりますので薄目に塗布してください。
- ★ツヤ無しですが僅かな光沢があります。
水を20%まで加える事で光沢を抑えた仕上がりになります。
乾燥後のツヤが気になる場合は400番のサンドペーパーで軽くサンディングしてください。



無希釈

20%希釈

施工手順

施工箇所や下地状況により下地処理が変わります。下記状況に応じた下地処理とダイヤモンドシステム施工をしてください。

- ※ダイヤモンドシーラー（トップコート）は仕上げ箇所に応じて塗布回数が変わります。
- ※床・浴室、シャワールームの接着材はプロリンク 2 度塗りです。
- ※クラック防止の為、ビスピッチは100～150mmとしてください。
- ※カウンターや床の合板は反り（クラック）防止の為、厚さ25mm以上をご使用ください。
- ※パテはオンザウォール塗り壁専用パテをご使用ください。

◎壁施工 石膏ボード下地の場合 ※8ページ参照ください

【下地処理】ビス頭パテ埋め、メッシュ+パテ処理（2度）

【ダイヤモンドシステム施工】

ドックプライマー



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 1度塗り

◎壁施工 合板下地の場合

【下地処理】アク止め、ビス頭パテ埋、メッシュ+パテ処理（2度）

【ダイヤモンドシステム施工】

ドックプライマー



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 1度塗り

◎カウンター、天板 施工の場合

【下地処理】 アク止め、ビス頭パテ埋め、メッシュ+パテ処理（2回）

【ダイヤモンドシステム施工】

ドックプライマー



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 1~2度塗り



<施工ポイント>

大きな不陸調整が必要な場合にはダイヤモンドフロア レベルを使用してください。その場合パテ処理は不要です。

より硬い下地を求める場合にもダイヤモンドフロア レベルをご使用ください。

◎床施工の場合

【下地処理】 合板部アク止め処理

【ダイヤモンドシステム施工】

プロリンク 2度塗り



ダイヤモンドフロアレベル+全面メッシュ伏せこみ



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 2度塗り

<施工ポイント>

土間やモルタル下地の場合、地面からの防湿対策を行ってください。またコンクリート、モルタルが十分乾燥した状態から作業を開始してください。

◎浴室・シャワールーム施工の場合

【下地処理】合板部アク止め処理

【ダイヤモンドシステム施工】

<床部>

プロリンク 2度塗り



ダイヤモンドフロアレベル+全面メッシュ伏せこみ



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 2度塗り

<壁・天井部>

プロリンク 2度塗り



ダイヤモンドフロアレベル+部分メッシュ



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 2度塗り

<施工ポイント>

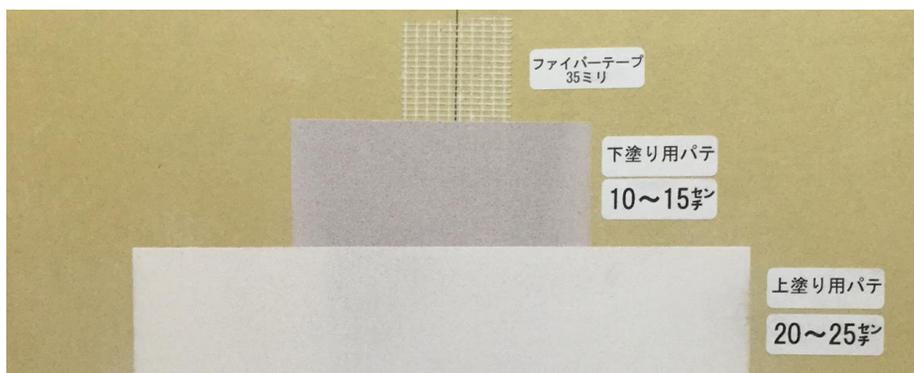
土間やモルタル下地の場合、地面からの防湿対策を行ってください。
またコンクリート、モルタルが十分乾燥した状態から作業を開始してください。

●石膏ボードパテ処理

オンザウォール製塗り壁専用パテ下塗り用／上塗り用をご使用ください。

【下塗り用】 ヤセが少なく細粒。厚付性能と作業性を両立。

【上塗り用】 超細粒。パテのつなぎが出にくい塗り壁用パテ。



下パテは攪拌機にて攪拌してからご使用ください。上パテはコテ板の上でよく練ってからお使い下さい。硬く感じる場合は2%程加水してご使用ください。石膏ボードの小口は粉っぽさを抑える為、プライマーを塗布してください。

- 1) 石膏ボードのVカット部を「下塗り用」パテで埋めてください。
- 2) ジョイント部分を35^{ミリ}ファイバーテープで補強します。
出隅・入隅は50^{ミリ}ファイバーテープをご使用ください。
- 3) ファイバーテープが隠れるよう「下塗り用」パテで10^{ミリ}～15^{ミリ}幅で1回目のパテ処理をし十分乾燥させます。この際パテが薄過ぎるとメッシュ透けの原因になります。ビス頭も「下塗り用」パテにて処理してください。
- 4) 乾燥後「上塗り用」パテにて20^{ミリ}～25^{ミリ}幅で2回目のパテ処理をし十分乾燥させます。この際メッシュ透けが無いことをご確認ください。
また、ビス頭も「上塗り用」パテにて処理してください。

●使用上の注意

- ・ 目に入った場合、直ちに水で15分以上洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・ 状況により保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- ・ Mクロス(紙付ベニヤ)は塗装後、シワが発生し仕上げ面にも影響を与えますので使用しないでください。
- ・ 施工は摂氏5度以上、35度以下の環境で行ってください。

ご不明な点がございましたらお問合せください。